

## システム情報工学研究科修士論文概要

年 度	平成21年度	学 位 名	修士( ビジネス )	
専 攻	経営・政策科学	専攻	著者氏名	林 穂衆
指導教員氏名 石井 健一				
論文題目				
中国製食品の受容に影響を与える心理的要因				
論文概要				
<p>近年、経済のグローバル化に伴い、日本にも外国からの輸入品が数多く流入するようになった。中でも、中国製品の輸入量は年々増加し、今や日本の消費者は、中国製品なしでは生活できない状態にあるといっても過言ではない。しかしながら、2008年1月におこった冷凍餃子事件の影響もあり、中国製品の中でも食品に対する日本の消費者の反応は厳しさを増すばかりである。そこで、本研究では、敵愾心(Animosity)と自文化中心消費主義(Consumer Ethnocentrism)という二つの主要な感情的要因を、中国製食品の受容を説明するモデルに取り入れ、中国製食品の受容に有意な影響を与える要因を探し出すとともに、2つの感情的要因を規定する有効な要因を分析する。一般消費者と学生を対象とした2回の量的調査により、敵愾心と中国製品への評価が負の相関関係にあることが明らかになったが、敵愾心と中国製食品の購買欲求との間には相関関係が見られなかった。つまり、敵愾心は中国製食品を媒介して、中国製食品の購買欲求に負の影響を与えるということである。一方、自文化中心消費主義は、製品の購買欲求と負の相関関係にあることがわかった。また、敵愾心・自文化中心消費主義を決定する有効な要因として、テレビの視聴時間によって測定されたメディアへの接触が認められた。こうした結果は、中国製食品が日本人消費者により受容されるためには、消費者の中国製品全般に対する評価を向上させるマーケティングを実施することが効果的な手法であることを示唆するものである。</p>				
審査日	平成	22年	2月	4日
審査員	(大学名・職名)		(学位)	(氏名)
主査	筑波大学 教授		工学博士	橋本 昭洋
副査	筑波大学 准教授		博士(社会工学)	石井 健一
副査	筑波大学 講師		博士(学術)	上市 秀雄